



秋田県こどもエコクラブ

活動報告集 2024

こどもエコクラブは、幼児から高校生まで誰でも参加できる環境活動のクラブです。秋田県で42クラブ、4,053人のメンバーが登録し、環境に関わる活動を行いました。

この報告集は、各こどもエコクラブから今年度行った活動について報告をいただき、まとめたものです。報告には、みなさんの今後の活動の参考となるところがたくさんあります。これからの活動がさらに広く深くなるための手助けになれば幸いです。



活動紹介



1 十二所保育園エコクラブ(大館市) 幼児

今夏、本園では、こどもエコクラブオリジナルバンダナが、おしゃれなネッククーラーとして大活躍しました。首を冷やすことで、ゆるやかに体温を下げるができます。中に入れて保冷材は食品に添付されていたものを再利用。エコ&カールの両立。

子ども達もお気に入りです。戸外遊び、園外保育の必須アイテムとなりました。バンダナカラーも涼し気です。サムライブルーならぬ十二所ブルー。今夏、十二所っ子の首元を彩ってくれました。



園外活動・電車の中にて・・・



かきこおり つめた〜い!

2 にしたてエコクラブ(大館市) 幼児

ブラックベリーの苗を植えてはや4年。今年は大粒の実が付きました。

毎年の草取り、水やり、時々追肥は、主に1〜2歳の子が担当してくれています。「黒くなってからだよ 赤はダメだよ」見かけのたびに言われています。くいしん坊に見えるのかなあ?

給食の先生がジャムにして、みんなで試食してみました。

行き帰り目を凝らして実の成り具合を観察し、食すタイミングをみている目は素朴でホッとします。(一日一人一房ご自由に、です。)



ブラックベリー4年



ブラックベリーの苗植え

3 東館保育園こどもエコクラブ(大館市) 幼児

本園では牛乳パックやペットボトルキャップ、食品トレイなどを通年で集めています。牛乳パックは組み立てて部屋のパーティションにし、遊びの環境づくりに役立っています。ペットボトルキャップは小学校のエコ活動のために寄付し、保小連携の一つになっています。

夏には、食品トレイを使って年長児がお魚釣り屋さんを開店し、全園児で楽しみました。

ごみになるはずの廃材は、材料となって子どもたちの遊びを豊かにしてくれています。ものを無駄なく使うエコ精神!これからも取り組んでいきたいです。



お魚釣り屋さんごっこ・食品トレイの手作り魚



牛乳パックのパーティション

4 釈迦内保育園エコクラブ(大館市) 幼児

今年度は、保護者の協力のもとペットボトルキャップ集めを実施しました。たくさん集まったキャップは、年長児が手分けして近隣の小学校に届けました。

大きな容器に移し替えると、改めて量の多さに「いっぱいだ〜」と歓喜の声を上げていました。

また廃材を利用した玩具づくりも楽しみ、「リサイクル」というワードに興味を持ちながら、エコクラブの活動を楽しむことができました。



「ペットボトルのキャップって
なににへんしんするんだろう…」
「たのしみだね」



「いっぱいあつまったね」
「また、もってこようね」

5 こひつじっこクラブ(秋田市)

幼児

3～5歳児42名の子どもたちで活動しているこひつじっこクラブ!今年で6年目になります。エコクラブのバンダナを巻いて、園周辺のごみ拾いなどのお掃除活動を頑張っています。

そして、「廃材の再利用もエコだね」と、各家庭からお菓子の空箱、ラップの芯などを回収して制作活動も楽しみました。子どもたちの作品は、市販では味わえない特別なおもちゃとなり、毎日の遊びが倍増して楽しくなっているようです。

これからも子どもたちと『エコって何だろう?』『どんなことができるかな?』など考え話し合う機会を大切にしながら、エコに関する様々な活動に取り組んでいきたいと思っています。



廃材遊び①



廃材遊び②

6 サン・パティオこども園こどもエコクラブ(秋田市)

幼児

環境学習の一環で、県の森林環境学習活動を兼ねて、年長クラスが由利本荘市「木のおもちゃ館」で木のぬくもりを感じる活動と秋田県産材を使ったクラフト活動を、また隣接する「あゆの森」で自然林散策を目的とした園外保育を行いました。年中クラスは秋田市河辺のクリプトンを会場に同様の活動を行いました。

どちらのクラスも自然に浸った充実した時間を過ごし、すてきなクラフト作品もできて満足した1日を過ごしました。



あゆの森の自然林散策(年長クラス)



クリプトンでの森のクラフトワーク(年中クラス)

7 せいいいエコクラブ(秋田市)

幼児

現在SDGsの活動の一つとして、特に、アルミ缶を保護者様に依頼して、回収、換金し、助けを求めている子どもたちへ聖霊学園高校の生徒と共に寄付をしています。誰かのために差し出す行動を通して『人を想う』活動を続けていきたいと思っています。

今までたくさんのご支援をいただき、幾度となくエコ活動ができたことは、子どもたちや職員にとって、よい学びとなりました。

カトリック園として、軸足を以前よりもチャリティーに向けていることもあり、今後も多様性についてや気候変動がもたらす災害についても(秋田市大雨浸水被害罹災)皆で、防災対策に努めていきたいです。



アルミ缶を回収し、換金して寄付しています



8 ナーサリー土崎わくわくクラブ(秋田市)

幼児

3～5歳児クラスの子どもたちで活動しています。日頃から子どもたちに手洗い時には水を止め無駄遣いをしないなど、資源を大切にすることを伝えているところです。

新たな取組として、家庭から空き箱やトイレットペーパーの芯等を持ってきてもらい、それを使用して自由に製作活動を楽しんでいます。

また、園周辺の公園でごみ拾いを行っています。いつも使っている公園をきれいにする事で「きれいになったね」「きもちいいね」という声が聞こえてきていました。

今後も子どもたちと一緒にできるエコ活動を考え、行っていきたいと思っています。



ごみ拾い活動



廃材製作活動

9 こども園こうほく風の遊育舎(秋田市)

幼児

本園には屋上園庭があり、そこでコンポストと畑の世話を園児としています。畑の収穫物は「おとまりこども園」等の夕食食材にし、残渣物はコンポストへ入れ土に還ってもらい、それを畑に戻す循環を体験できる環境を提供しています。

また、玉ネギを秋に植え越冬栽培し、収穫時には卒園してしまっている年長児から年中小児へお世話を継承してもらう「異年度異年齢保育」を始め、卒園児たちは「里帰りこども園」で収穫した玉ネギをカレーにいただきました。



屋上園庭の畑とコンポスト



卒園児が玉ネギを見に来てくれました

10 どれみ保育園エコクラブ(大仙市)

幼児

本園では、ニワトリを50羽ほど飼っています。生まれた年によって、それぞれのおうちがあり、産んでくれた卵は給食でおいしくいただきます。

給食を作るときに出る野菜の皮や残渣は、ニワトリのご飯として米ぬかや古米と一緒に炊き、ニワトリの糞尿は、畑に返し、栄養たっぷりの土として再生されます。

これらの仕組みを、子どもたちは週1回の畑活動・エコ活動を通して楽しく学びながら実践しています。



ニワトリのお世話



栽培したネギの収穫

11 みつばっこエコクラブ(大仙市) 幼児

地域の方々に園庭の横に畑を作ってもらい、一緒に春から秋にかけてジャガイモ、きゅうり、かぼちゃ、ピーマン、大根などの栽培・収穫を行いました。

自分たちで収穫した野菜の花の色や形に興味を持つ子どもや「いつもよりおいしい」と言って食べる子どもの姿がありました。農業体験を重ねていくことで食への関心も深まるとともに食物を大切にする気持ちを育む基盤となりました。

今後も地域の方々との交流と農業体験を通して自然を大切にしている気持ちを育んでいきたいです。



地域の方と野菜の苗を植えている様子



夏野菜の収穫の様子

12 花岡小 アルミ缶集めプロジェクト(大館市) 小学生

環境教育支援校

全学年で力を合わせて活動するふるさとキャリア教育。本校のテーマは「勇気・つながり・チャレンジ」。子ども同士がつながり、地域とつながり、自分たちがやるべき事を見極めて自主的に進めるチャレンジ活動を行っています。5月は、地域をきれいに目的で「大谷になろう ハッピーアップ大作戦! (地域の企業とタイアップして行われたクリーンアップ)」として実施されました。そして3年生を先頭に通年で取り組むアルミ缶回収も、地域を巻き込んで行われています。今までに110kgという回収量となりました。

この秋も、ポスターを書いたり、地域へのおたよりを通じて呼びかけをしたりしながら、300kgを目指しています。



大谷になろう ハッピーアップ大作戦!



業者の方と積み方作業

13 ありうらエコクラブ(大館市) 小学生

環境教育支援校

本校では6年生が総合的な学習の時間に「我ら未来大館市民、我らSDGs発信隊〜ふるさと大館を持続可能な未来の街へ〜」として、SDGsについて学習しています。今年は大館市内での取組について、水、リサイクル、フードロス、安全、感染症の分野に分かれ、市役所や企業に直接伺い、インタビューを行いました。調べたことをもとにSDGsの視点でアイデアをまとめ、取材に協力してくださった方々をお招きして自分たちが考えた未来大館市の姿をプレゼンしました。



安全について警察署で取材



SDGsプレゼンの様子

14 飯島南小学校6年(秋田市) 小学生

環境教育支援校

本校では、「花いっぱい」を合言葉に、自然を大切にし、子どもたちが主体となって多くの花を育てました。特に、今年は花の種類と本数を増やし、より命を大切にする心の育成に励みました。

また、理科の授業の中でSDGsに関連した学習を進め、自分の気になる環境問題について調べ学習を行いました。調べた内容をスライドショーにまとめ、学級で発表しました。

自分たちで調べたことにより、地域や自然を大切にする心が育っています。



花の鉢植え作業



SDGs発表会

15 西目シーガルエコクラブ(由利本荘市) 小学生

本クラブでは、西目環境保全活動の会の皆さんと西目川の生物生息調査を行い、川に住む魚や水中生物を通して、地域の環境を守っていく大切さについて考えました。

また、イラスト・クラフトクラブは、西目中学校と西目高等学校の美術部の生徒と一緒に、海ごみのブイにイラストを描き、西目海水浴場につながる道路沿いに「Welcome ブイ」を設置しました。

西目地域にとどまらず、他地域の方に向けても環境保全のメッセージを発信しました。



西目海水浴場「Welcome ブイ」



西目川生物生息調査

16 井川義務教育学校自然観察クラブ(井川町) 小学生

今年度も地域の先生に協力していただきながら、「国花苑の植物観察」「カヌー体験」「井川の水質調査」など、自然と触れ合う体験を行うことができました。子どもたちからは、「身近な国花苑にある植物について知ることができた」「初めてのカヌーで前に進むのが難しかったけど、楽しかった」などの声が聞かれました。

これからも、ふるさと井川の自然を大切にしていけるよう、子どもたちの活動をサポートしていきたいと思っています。



カヌー体験



国花苑での植物観察

17 雄物川小学校(横手市)

小学生

本校では毎年、環境ボランティア委員会が中心となり、全校児童でアルミ缶とプルタブの回収と花壇整備に取り組んでいます。

今年度も、月に1回程度玄関ホールで回収を行い、委員会の時間にアルミ缶収集の呼びかけ用のポスターやお便りを制作しました。収益金を活用して、福祉に関わる物品等を購入し、年度末に社会福祉協議会を通じて地域の福祉施設に贈る予定です。

また、花壇への水やりや草取り、校内外の清掃を定期的に行い、学校の美化に協力することができました。

これからも、地域や学校のためになることを考えて活動していきたい、思いを強くしているところです。



マリーゴールド植栽の様子



朝のアルミ缶とプルタブ回収の様子

18 醍醐小学校キラリエコクラブ(横手市)

小学生

環境教育支援校

リンゴの里で有名な醍醐小学校のキラリエコクラブです。

今年度も夏休み最終日曜日に、PTAと小学生、地域住民、中学生ボランティアが一体となって資源回収に取り組み、例年集めている新聞・雑誌、空き瓶に加え、牛乳パックを集めました。

また、児童会が中心となり、毎週金曜日にアルミ缶のリサイクルを行い、その収益金を地域の介護老人福祉施設へ贈ることで、施設が車いすを購入するお手伝いをさせていただいています。

さらに、総合的な学習の時間ではSDGsを意識した内容に取り組んでいます。その一環として、5年生が学校近くにあるSDGsに関連した取組をしている会社を見学し、多様なSDGsのあり方を学習してきました。



5年生総合的な学習の時間の様子



資源回収の様子

19 浅舞小学校(横手市)

小学生

身近な環境に目を向けるとともに、自然の良さに触れ、地域づくりに積極的に関わっていくことをねらい、ひまわり栽培を核とした「ひまわりプロジェクト」やアルミ缶回収、植物の栽培、地域探検に取り組んできました。これらの活動を通して、地域環境の再発見、自然の恵みの豊かさ、リサイクルの大切さなどを学ぶことができたように思います。

収穫したひまわりの種は、搾油し、ひまわり油として販売する予定です。



ひまわりプロジェクト



自然を見つめる活動

20 横手南小学校(横手市)

小学生

本校では、全校児童で一人一鉢運動を行っています。今年も1年生と6年生、2年生と4年生、3年生と5年生がペアになってペゴニアの苗を鉢に植えました。地域の方々も手伝ってくださり、学年で交流しながら楽しく活動しました。毎日水やりを行い、元気な花を育てました。6年生は横手川の自然を学びました。美土里ネットさんが来校し、横手川に住む生き物たちについて紹介してくださいました。

また、横手川河川敷のクリーンアップをしました。



ペゴニアの苗植え



横手川河川敷のクリーンアップ

21 大雄っ子エコクラブ(横手市)

小学生

今年度、本校では地域の方々と協力し、「たいゆうわくわくガーデン」をオープンしました。たくさん咲いた花を使って1・2年生は押し花を作り、学習でお世話になった地域の方に送りました。

また総合的な学習の時間には、各学年で大豆や米、ホップの栽培や味噌造りなどを行いました。

大雄の食の豊かさや地域の方々の情熱に触れることができ、ふるさとをますます好きになりました。



たいゆうわくわくガーデン、オープン!



味噌を仕込みました!

22 角間川小学校エコクラブ(大仙市)

小学生

本校では、自然を大切に、身近な環境を守ることをねらいとして、全校児童71名で活動に取り組んでいます。学校の花壇にはマリーゴールドなどを植え、さつまいもの苗植えや収穫をなかよしグループで行いました。

エコ委員会では、朝顔とゴーヤを育てて緑のカーテンとし、夏を涼しく過ごすことができるようにしました。また、地域の小中学校合同で親水公園クリーンアップ活動を行うこともできました。

今後もエコに関する様々な活動に積極的に取り組んでいきます。



マリーゴールドを植えました



クリーンアップ活動

23 横堀小学校エコクラブ(大仙市) 小学生

本校では、「ふるさとの魅力に気付く体験活動」を重視しています。

学区内を探検して、地域の「すてき」を探したり、一人一鉢でお花を育てたりしています。それから、自分たちで栽培した野菜を使ってのお菓子作りもしました。

田んぼの学習では、田植え、稲刈りに加えて、生き物調査もし、鮎の稚魚を見つけました。また、田んぼで泥んこ遊びもしました。

様々な活動を通して、ふるさとの環境を守っていこうという気持ちが育ってきています。



田んぼの生き物探し



田んぼで運動会

24 中仙小学校(大仙市) 小学生

本校では、総合的な学習の時間、に、SDGsに関連した取組を行っています。

4年生は、菜のはなタイムの学習を通して、障害やお年寄りについて実感を伴って学ぶことができました。

5年生は、きのご栽培体験を通して、自然への感謝と生育の環境などについて知ることができました。

6年生は、地域の桜を守るための活動を行い、歴史と伝統を大切にすることで、ふるさとに対する思いにふれました。

また、SDGs委員会の取組として、募金活動や校内環境の美化、校内放送でのクイズを通してSDGsの周知活動を行っています。



4年 菜のはなタイム



5年 きのご栽培



6年 つる切り

25 秋田大学教育文化学部附属中学校 国際情報科学部(秋田市) 中学生

本校では、「生分解性プラスチック」や「コンポスト」「ペーパーフルーツ」「ペットボトルから電気を作る」など、SDGsに貢献できるような実験を多く行っています。「生分解性プラスチック」の実験では、牛乳などに多く含まれるカゼインという物質を使って、自然に優しいプラスチックを作っています。「ペーパーフルーツ」の実験では、捨てられてしまうフルーツの皮を再利用し、紙を作っています。

これらの実験から、SDGsに貢献することの重要性を知りました。



活動の様子



普段の研究の様子

26 秋田南高等学校中部自然科学部(秋田市) 中学生

自然科学部は5つの班がそれぞれテーマを決めて研究しています。私たちの班は「バイオエタノール」という燃料があることを知り、自分たちで作ってみました。

本校の敷地内の植物を刻んで水と混ぜ、1か月かけて発酵させます。できたものを蒸留して濃度を測定すると、イヌムギで11%、ヒメリンゴの果実で16%のエタノールができました。バイオエタノールをつくるには、かなりの時間が必要なことや、たくさんの植物からできるエタノールの量は少ないことがわかりました。

これからも自然を調べる活動を大切にしていきたいと思っています。



濃度の測定



ガス抜きをこまめに行い発酵させる

27 男鹿東中学校(男鹿市) 中学生

本校では、毎年「地域貢献活動」と題して、地域の方々とともに海岸や公園などの清掃活動を行っています。地域の一員として、自分たちの手でより良い地域を創り上げていこうという活動です。

今年度は、「自分たちできれいにできたことがうれしかった。日頃から地域に貢献したい」「これからはもっとごみを分別したり、自分から積極的にごみを拾ったりしていきたい」などの感想が聞かれました。



海岸のクリーンアップ



28 天王南中学校(潟上市) 中学生

環境教育支援校

本校では7月に全校でボランティア活動を行いました。

1年生は、通学路のごみ拾い活動をしました。

2年生は、地域の方々と交流しながら学区内の公民館や集会所の環境整備をしました。

3年生は、学区内の海水浴場でもある出戸浜海岸でごみ拾い活動を行いました。

海岸に漂着、回収した大量のごみを通して、秋田や日本だけでなく世界的にも課題となっている海洋汚染やごみ問題について考えるきっかけになりました。



↑公民館や集会所の環境整備↓



海岸のごみ拾い活動

29 湯沢南中学校自然科学部(湯沢市) 中学生

環境教育支援校

今年の緑のカーテンは、スイートソルガムという新しい植物に挑戦しました。この植物は、東日本大震災で塩害があった地域でも育つ植物として植えられたものです。私たちの地域では、昨年夏の猛暑の影響でサクランボのめしべに胚珠が2つ入るなど、例年ではあり得ないことが起きています。地球温暖化によって、将来の植生が変化してしまうかもしれません。

どのような環境でも育つ植物を探していきたいと思います。



スイートソルガム



高温障害による双子サクランボ

31 秋田南高等学校自然科学部(秋田市) 高校生

私たち自然科学部は沿岸のマイクロプラスチックについて研究しました。秋田県沿岸を北は米代川河口から、南はにかほ市赤石浜まで合計7か所を調査しました。

海岸のマイクロプラスチックは2023年度に調査した猿田川で取れた合計量よりはるかに多いものでした。

また、海岸で採取したカニ類や貝類の多くの体内からプラスチック繊維が見つかりました。

これからも調査を続けることで、秋田の海の環境を把握していきたいと思います。



調査の様子



採取したマツバガイ

33 秋田明徳館環境基礎(秋田市) 高校生

環境教育支援校

本校独自の授業である「環境基礎」においては、世界における環境問題の事例に触れながら国際社会とのつながりを学びつつ、環境と人間生活とのかかわりについて理解を深め、環境問題に主体的に取り組む姿勢を育むことをねらいとしています。

本校は秋田駅の近くに立地していますが、周辺にビル等の建物が増え、緑地が減少しています。そこで、大気汚染の実態調査、ヒートアイランド現象の現状、再生可能エネルギーなど、地域課題に関する授業を実施しました。生徒は主体的に活動し、問題解決能力を身に付けていました。



気温測定



大気汚染の研究

30 稲川中学校(湯沢市) 中学生

環境教育支援校

本校では、4年前から地域の活性化を目指して地元業者と協力して商品開発を行い、販売会等を通して地域の魅力を発信してきました。また、環境を考えたSDGsの取組として、規格外の枝豆やりんご、ねぎ等の地元特産品を加工した商品開発を行っています。

地域の方々、保護者、生徒が一体となり、活動が広がってきています。

さらに全国へ発信できるように、これからも頑張っていきたいと思っています。



ねぎの収穫



りんごの収穫

32 新屋高等学校理科研究部(秋田市) 高校生

環境教育支援校

秋田市大森山動物園塩曳淵において、在来種保全や外来種駆除、外来種であるアメリカザリガニ有効活用に関する研究を継続的に進めています。昨年度に続き、アメリカザリガニ肥料を用いたコマツナ栽培を行い、20g程度で化成肥料と同等の効果を、20g以上で化成肥料以上の効果を確認することができました。

また、アメリカザリガニを疑似餌に加工し、釣果向上につなげる研究にも取り組み始めました!その他、昨年度設置したモグリウムでは水草の成長が伺えたり、水生昆虫も観察できたりと順調に進んでいます!



大きく成長したコマツナ



理科研究部員



活動の様子

34 天王みどり学園高等部アグリサービス班(湯上市) 高校生

花壇(グリーンガーデン)と畑(グリーンファーム)の両輪で、働く力や地域貢献することの大切さについて学習しました。花壇に、生徒と保護者が共同して(PTA植栽活動)、ピンカとブルーサルビアを定植しました。全県花だんコンクールでは特別優秀賞(秋田県教育長賞)を受賞することができました。畑での活動では、秋田県立大学の櫻井教授から本格的な農業を指導していただきました。

また、オリジナル商品(干し芋、みそ漬け)を作って販売しました。



満開のピンカとアグリサービス班



櫻井教授の指導(さつまいも定植)

35 比内支援学校たかのす校(北秋田市) 混合

毎年、最寄り駅やバス停、地域の介護老人福祉施設の清掃・除草活動や、駅への花のプランター設置活動を行っています。

介護老人福祉施設では感染症対策により直接的な交流はできませんでしたが、高齢者の方々が気持ち良く生活できるようにと心をこめて清掃・除草活動をしました。

「来年もがんばりたい!」という言葉が自然と出てきたのが印象的でした。



清掃や除草活動の様子

36 あきた緑の少年団(秋田市) 混合

10月15日午前に、ニツ井の日本一高い天然秋田杉「きみまち杉」を見に行きました。高さは58m。太くて、堂々としていました。森林管理局の方から、木の高さや太さの測り方などを実際に道具を使って教えてもらいました。

午後、能代木の学校で「宝箱」を作りました。モノ作りではいろいろな道具を使いました。初めて使うモノもありました。出来上がってうれしかったです。宝箱は帰りのバスで、早速おやつ入れに使いました。



アトリオン61mの方がちょっと高い



おやつ入れ

37 ひろおもてエコクラブ(秋田市) 混合

秋田市広面地区を中心に、今年は小学2年生から中学1年生までの計7名で活動しています。主な活動は毎月1回、季節ごとの自然観察、ごみ拾いや環境学習などです。メンバーは少ないですが、様々な学年で交流することで、学校とは違う刺激を受けています。

また、時には地域の専門家の方を講師にお願いし、貴重な様々な体験もあります。

活動の様子は皆で壁新聞にまとめ、小学校に掲示していただき、地域の方々にも見ていただいています。



水生生物の観察 講師より説明を受ける 壁新聞づくり 完成した新聞を囲んで



38 イオン土崎港チアーズクラブ(秋田市) 混合

私たちは小学1年生～6年生のメンバー3人で活動し、今年は植物について学習しました。

春にはペットボトルを使った水耕栽培でミニトマトの種をまき、成長を観察しました。暑すぎて弱ってしまい大変でしたが、芽が出て、葉が出て・・・と楽しみながら観察ができました。

また種子植物がどのように仲間を増やしていくのか、秋田市の【空とぶ「たね」のひみつ】の出前講座を受け、いろいろな種の模型を作って飛ばしてみたのがとても楽しかったです。



ミニトマト観察日記



空とぶ「たね」のひみつ出前講座

39 イオン秋田中央チアーズクラブ(秋田市) 混合

イオン秋田中央チアーズクラブは、小学生・中学生・高校生の計12名で、明るく元気に活動しています。

毎年新入社員との交流は緊張するようです。

今年も恒例のじゅんさい摘み取り体験・白神山地植樹体験に参加しました。

植樹体験では昨年は突然の雨で植えられなかった分、今年は汗だくになりながらたくさん植える事が出来たようです。



新入社員と交流



壁新聞大会



じゅんさい摘み取り体験



40 大曲支援学校(大仙市) 混合

環境教育支援校

5月、全校児童生徒125名と地域の方々24名が参加し、小学部は桂公園周辺、中学部は花火通り商店街周辺、高等部は学校周辺に分かれて清掃活動をしました。

たばこの吸い殻や空き缶、プラスチック破片など、全部で18kgのごみを集めました。生徒からは「ごみの分別が難しかったけれど、きれいになってよかったです」などの感想が聞かれました。

引き続き地域への感謝の気持ちを込めて、清掃活動に取り組んでいきたいと思います。



地域の方と取り組んだ全校クリーンアップ



全国エコ活コンクール 応募作品紹介!

全国のこどもエコクラブや、環境活動をしている子どもたちのグループ、個人が全国のみんなにエコ活動の成果や感じたこと、気づいたことを壁新聞やデジタル作品にまとめて伝える「全国エコ活コンクール」。

コンクールの表彰式は、3月に開催されるこどもエコクラブ全国フェスティバルで行われ、県ではこどもエコクラブの全国フェスティバル参加を支援しています。今年度の応募作品を紹介します。

あきた緑の少年団（壁新聞部門）



活動内容

私たちのクラブでは、自然に親しみながら、自然の大切さに気づくように、山登りや自然観察などを実施しています。

今年度は飯ごうでご飯を炊く体験をして、好評でした。

現在は、防災や熊対策について、学習の必要性を感じています。

メンバーからのメッセージ

今回作成をしたメンバーはみんな初めてでしたが、協力して完成させました。

サポーターからのメッセージ

みんなそれぞれが自分の役割を担い、考えをまとめることができました。

イラストや写真がとても印象的で秋田をアピールできています。

宝箱はおやつを入れたりして利用しています。

ひろおもてエコクラブ（壁新聞部門）



活動内容

私たちのクラブは、毎月1回、主に土曜の午前に、自分たちが生活する身近な地域を中心に活動しています。

メンバーは小学2年生から中学1年生で、保護者からも参加があり、体験を共有できています。

自然観察やクリーンアップ、室内外での環境学習はサポーターが行い、水生生物の観察などは外部講師を依頼するなど様々な活動を行っています。

メンバーからのメッセージ

毎年ごみ拾い活動を頑張っていますが、街にごみがたくさん落ちていて、悲しくなります。

食べ物のごみは、熊が食べに来てしまいます。

今回の壁新聞は、「ごみのポイ捨てをしないでほしい!」というメッセージを込めて作りました。

サポーターからのメッセージ

熊に関する部分は、中学生となったメンバーが中心に作成を行い、低学年の仲間からもどんどん発言を引き出して、まとめあげました。

また、新聞の数箇所にいる熊のイラストは、それぞれ個性的で今回の注目ポイントです。

イオン秋田中央チアーズクラブ（壁新聞部門）



活動内容

私たちのクラブでは、毎年イオングループ・チアーズクラブ全体で決めたテーマに沿って環境活動を行い、年度末には壁新聞を作成し大会に参加しています。

メンバーからのメッセージ

限りある資源を大切に、より良い環境を未来へつなげていきたいです。

サポーターからのメッセージ

人間の便利さだけを求めるのではなく、自然環境を守り、未来のために出来ることを考えて行動をします。

新屋高等学校理科研究部（デジタル部門）

クラブ活動のアピールポイント

私たちは、在来水生生物の保全活動を中心に活動しております。春から秋にかけて、本校近くにある秋田市大森山動物園を週一回訪問し、モニタリング調査や外来生物の駆除活動を行っています。

動物園の塩曳淵は、ゼニタナゴやシナイモツゴ、キタノアカヒレタビラなどの希少種が存在する世界的に見ても貴重なホットスポットになっており、秋田市大森山動物園やNPO法人秋田水生生物保全協会と協力・連携して保全活動に取り組んでいます。

活動の際、在来生物を脅かすアメリカザリガニなどの外来種の駆除が必要となりますが、駆除したザリガニに付加価値をつけることはできないかと、肥料化に取り組んでいます。

アメリカザリガニ肥料が葉野菜に与える素晴らしい効果を確認出来ているので、今後は、何が成長促進に繋がっているのか、適正施肥量はどの程度なのかを検討していきたいです。また、アメリカザリガニパウダーで疑似餌にできないかと製品化にも取り組んでいます！近々、製品化に向けてのクラウドファンディングも予定しています。



イベントで肥料の効果を紹介しました



理科研究部員です！

🏆 新屋高等学校は令和6年度 環境大賞を受賞しました！



令和6年度 登録クラブ一覧

42クラブ 4,053名



こどもエコクラブ
イメージキャラクター
「エコまる」

幼児クラブ		
①十二所保育園エコクラブ	(13名)	大館市
②にしたてエコクラブ	(30名)	大館市
③東館保育園こどもエコクラブ	(16名)	大館市
④釈迦内保育園エコクラブ	(49名)	大館市
⑤こひつじこクラブ	(42名)	秋田市
⑥サン・パティオこども園 こどもエコクラブ	(21名)	秋田市
⑦せいいいエコクラブ	(80名)	秋田市
⑧ナーサリー土崎わくわくクラブ	(72名)	秋田市
⑨こども園こうほく風の遊育舎	(69名)	秋田市
⑩どれみ保育園エコクラブ	(18名)	大仙市
⑪みつばっこエコクラブ	(20名)	大仙市
小学生クラブ		
⑫花岡小 アルミ缶集めプロジェクト	(35名)	大館市
⑬ありうらエコクラブ	(488名)	大館市
⑭飯島南小学校6年	(58名)	秋田市
⑮西目シーガルエコクラブ	(226名)	由利本荘市
⑯井川義務教育学校自然観察クラブ	(9名)	井川町
⑰雄物川小学校	(330名)	横手市
⑱醍醐小学校キラリエコクラブ	(120名)	横手市
⑲浅舞小学校	(242名)	横手市
⑳横手南小学校	(506名)	横手市
㉑大雄っ子エコクラブ	(147名)	横手市
㉒角間川小学校エコクラブ	(71名)	大仙市

㉓横堀小学校エコクラブ	(16名)	大仙市
㉔中仙小学校	(143名)	大仙市
平沢小学校	(281名)	にかほ市
中学生クラブ		
㉕秋田大学教育文化学部附属中学校 国際情報科学部	(46名)	秋田市
㉖秋田南高等学校中部自然科学部	(23名)	秋田市
㉗男鹿東中学校	(289名)	男鹿市
㉘天王南中学校	(276名)	湯上市
㉙湯沢南中学校自然科学部	(17名)	湯沢市
㉚稲川中学校	(139名)	湯沢市
高校生クラブ		
㉛秋田南高等学校自然科学部	(7名)	秋田市
㉜新屋高等学校理科研究部	(6名)	秋田市
㉝秋田明德館環境基礎	(15名)	秋田市
㉞天王みどり学園高等部アグリサービス班	(5名)	湯上市
異年齢混合クラブ		
㉟比内支援学校たかのす校	(43名)	北秋田市
㊱あきた緑の少年団	(34名)	秋田市
㊲ひろおもてエコクラブ	(7名)	秋田市
㊳イオン土崎港チアーズクラブ	(3名)	秋田市
㊴イオン秋田中央チアーズクラブ	(12名)	秋田市
㊵大曲支援学校	(26名)	大仙市
わくわくエコ工房	(3名)	秋田市

※クラブの番号は、「活動紹介」の番号と対応

「環境教育」に関する秋田県の主な事業

★各事業の詳細はWeb検索から!

秋田県 温暖化対策課 環境教育

検索



環境教育支援校事業

地域の環境活動支援事業 (環境の達人派遣)

あきたエコフェス

環境大賞

あきた環境学習応援隊

ECOコン

環境あきた県民塾

SDGsに係る講師派遣

こどもエコクラブ 支援事業

こどもエコクラブの活動、全国フェスティバルの参加を支援するほか、新規会員に対し秋田県オリジナルバンダナを提供します。

登録用紙をこどもエコクラブ全国事務局に提出することにより参加でき、登録・年会費等は無料です。

編集：こどもエコクラブ地域事務局
秋田県地球温暖化防止活動推進センター

(認定NPO法人環境あきた県民フォーラム)

〒010-0951 秋田市山王5丁目7番6号 林泉会館

TEL：018-853-6755

FAX：018-853-6765

E-mail：mail@eco-akita.org

環境あきた県民フォーラム
オリジナルキャラクター
く〜るちゃん



センターHP

発行：秋田県生活環境部温暖化対策課

〒010-8570 秋田市山王4丁目1番1号

TEL：018-860-1560

FAX：018-860-3881

E-mail：en-ondanka@pref.akita.lg.jp



できることから はじめよう♪

みんなで ストップ・ザ・温暖化あきた

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。